

## 第10回 臨床栄養指導 認定動物看護師 1級2次試験 合格発表

01191001	01191003	01191004	01191006	01191007
01191010	01191011	01191012	01191014	01191016
01191018	02191002	02191003	02191004	02191005
02191006	02191007	02191008	02191009	02191011
02191015	02191016	02191017		

## 第10回 臨床栄養指導 認定動物看護師 1級2次試験 総評

1級試験では、1次試験（筆記試験）で知識を2次試験（医療面接）では応用力すなわち知識を上手に使うってクライアントを導く栄養指導の技術を確認しています。医療面接では、一般に以下のような点を中心に評価しています。

- ・疾患に対する理解
- ・その疾患に対して栄養の果たす役割の説明
- ・家庭での注意点
- ・これらを伝えるコミュニケーションの技術

栄養指導＝ペットフードの説明ではありません。飼い主のアドヒアランスを高めるためには、なぜ栄養管理が必要なのか納得感を得ることが重要です。また、栄養管理は院内でなく主に家庭で行われるものから、ペットフードを説明し販売するだけでは不十分です。

実際にはペットフードの説明に終始し、疾患と栄養の関係性や家庭での注意点などを十分伝えていないケースが多くみられました。また、模擬患者からの質問を待つ、それに答えるようなスタイルの方も散見されました。上述したとおり、医療面接試験は質問とそれに対応する解答を確認するものではありません。実際の臨床現場と同様、飼い主からの質問を待つような事はせず、その場をリードしていく姿勢が必要でしょう。

1級1次試験について、臨床現場で日常的に栄養指導をしているのであれば間違えるはずのない問題で不正解の方もいたことから、現場での経験が不足しているのではないかと推測されます。実践経験を積む事が近道ですが、そのような場が少ないのであれば、仲間同士でロールプレイを行うことも有効です。

一般社団法人 日本動物看護職協会  
栄養認定委員会